

第3学年 国語科学習指導案

指導者 宮田 夏海

1 単元名 はたらく犬について調べたことを要約し、お仕事だワン！リーフレットで紹介しよう

2 言語活動とその特徴

本単元では、言語活動として調べて分かったことを短くまとめて「お仕事だワン！リーフレット」（以下「リーフレット」という。）を作ることを位置付けた。ここで取り上げるリーフレットでは、文章を要約する部分とそこから考えたことを書く部分を作る。このことで「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」（C読むこと エ）を実現できるようにしている。また、考えたことを書く部分では、人権教育の視点も取り入れ、みんなが暮らしやすくなるために、はたらく犬がいることを意識させて読んでいる人に向けて一言を書くようにしている。

3 単元について

（1）児童観

児童は、4月「自然のかくし絵」において、段落の中で重要な言葉を見つけ、段落ごとに短い言葉でまとめる活動を経験している。また、5月「ゆうすげ村の小さな旅館」では、物語全体のあらすじをまとめた学習をした。これらの学習から、大事な言葉や文を探して簡単な言葉に書き換えたり、言葉を補ったりしてまとめること自体は、繰り返し経験してきている。しかし、キーワードやキーセンテンスを見つけることや短く内容をまとめることについて課題が見られる。

（2）教材観

本教材は、犬が一人前の盲導犬になるまでの訓練の過程について、順序を表す言葉や犬の成長を表す言葉を使って、順序よく説明している。文章構成も明確で、話題提示の後、訓練の過程を時間経過や訓練の進度から五つの意味段落を作り、具体例を挙げながら説明している。そのため、内容を読み取りやすく、文章の要点もつかみやすい。多くの訓練の写真が掲載されているので、訓練の内容を視覚的にも理解しやすい。そのため、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することに適していると考える。

（3）指導観

本単元では、説明文を正確に読み取り、書かれている内容を短くまとめる要約の力を身に付けさせたい。そのためには、「何のために要約するか」という目的を明確に示す必要がある。そこで、「はたらく犬を紹介しよう」という言語活動を設定し、はたらく犬についてまとめたリーフレットを作る活動を展開していく。第1次では、教師自作のリーフレットを提示し、学習の目的と見通しをもたせる。第2次の教材文「もうどう犬の訓練」では、大事な言葉や文を見つけることを重視し、学習の手引きを活用する。また、要約モデルを基に話し合う活動を設定し、要点を捉えたり要約したりする力を習得できるようにする。第3次では、第2次で習得した要約の仕方を使ってリーフレットを作成し、交流する。このように、要約する目的を明確に示し、学習の手引きや話合い活動を工夫すれば、目的や必要に応じて要約する力を育てることができると考える。

4 単元の目標

- 働く動物について関心をもち、進んでいろいろな資料を読もうとしている。 (関心・意欲・態度)
- 自分の課題を解決するのに必要な文章の要点に着目して読み、働く犬の仕事や役割を紹介するために、必要な部分を要約することができる。 (読むこと)
- 指示語や接続語を手がかりに文や段落相互の関係を捉えることができる。
(伝統的な言語活動と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・働く犬について関心をもって読み、進んでいろいろな資料を読んで調べようとしている。	・課題を解決するのに必要な文章の要点に着目して読み、働く犬の仕事や役割を紹介するためには、必要な部分を要約している。	・指示語や接続語を手がかりに文や段落相互の関係を捉えている。

6 単元の指導計画（13時間扱い）

主な学習活動	主な評価
1 「はたらく犬クイズ」を行い、提示された写真の犬に共通することを考え、リーフレットを作るという課題をもつ。 2 働く犬についての映像を視聴したり、題名読みをしたりして教材のねらいと活動の流れをつかみ、感じたことや考えたことを発表する。 3 提示された観点に沿って読み取り、大まかな内容をつかむ。 4 前時の内容と写真を手がかりに、はじめ・中・おわりの文章構成を考える。また、要約のポイントを大まかにつかむ。 5 教師自作のリーフレットと、①～③段落とを読み比べ、リーフレットをどのように書けばよいのかを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「もうどう犬とは、どんな犬か」について、短くまとめよう。</div> 6 形式段落④、⑤～⑧を読み、「人間の言うことに従う訓練」について要約し、リーフレットにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「人間の言うことに従う訓練とは、どんな訓練なのか」について、短くまとめよう。</div> 7 形式段落⑨～⑫を読み、「人を安全に導く訓練」について要約し、リーフレットにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「人を安全に導く訓練とは、どんな訓練なのか」について、短くまとめよう。</div> 8 全文を読み、「盲導犬の仕事」について要約し、リーフレットにまとめる。(本時) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「もうどう犬の仕事とは何か。」について、短くまとめよう。</div> 9 リーフレット（もうどう犬編）を完成させ、互いに読み合い、交流する。	・働く犬について関心をもち、リーフレットを作ることに興味をもっている。 (関心・意欲・態度)
10～11 調べたい働く犬に関する本や資料から、必要な言葉や文を書き抜く。 12 調べて分かったことをリーフレットにまとめる。 13 2年生にはたらく犬について紹介し、学習を振り返る。	・調べてわかったことを整理して要約し、リーフレットにまとめている。 (読む能力) ・進んで調べたことを紹介しようとしている。 (関心・意欲・態度)

7 本時の学習

(1) 目標

「もうどう犬の仕事」について要約し、リーフレットにまとめることができる。

(2) 準備・資料

ワークシート キーワードを書いた短冊 キーワードがわかる写真資料 要約用ヒントカード
大型モニター 実物投影機

(3) 展開

学習活動	主な指導・支援と評価（※は本時の評価）
1 本単元の言語活動を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもち、ゴールのイメージができるよう、「学習の流れ」を確認する。
2 本時の学習課題をつかむ。 「もうどう犬の仕事とは、何か」について、短くまとめよう。	
3 大事な言葉や文を探し、盲導犬の仕事について短い文章にまとめる。 (1) サイドラインを引きながら、大事な言葉や文を探し、見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・「目の不自由な人が、町を歩けるように」という言葉を使いたいな。 ・「目の代わりになって助ける」も必要だよ。 ・「もうどう犬は体の一部」という一文も気になるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉や文の詰合いで、要約文を書く見通しがもてるようになる。 ・視覚的に理解できるように、発表された言葉や文は、短冊にして掲示する。 ・要約の手がかりとなるように、視覚的に盲導犬の仕事が分かるようなカードを用意する。また、そのカードを選んだ理由を教材文から探すことによって教材文と写真を結び付けられるようになる。 ・友達の意見を聞いてよいと思った意見は、Ⓐで付け加えてよいことを伝える。 ・要約文を書くことが難しい児童には、要約の達人ガイドを参考しながら一緒に考えたり、ヒントカードを用意したりして個別に対応する。 ・話す人は、ワークシートを友達に見せながら言葉や文を選んだ理由も一緒に話すように助言する。 ・聞く人は、友達が発表したら、自分のワークシートと必ず見比べ、共通点・相違点を話して意見交換を行うように助言する。
(2) 盲導犬の仕事についてまとめる。（個人）	
(3) 学習グループで、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「もうどう犬は、・・・」と書き始めたんだ。私は「もうどう犬の仕事は・・・」で始めたよ。 ・もうどう犬の仕事だから、どのような仕事をしているのかを書くことが大事だね。 ・人を助ける犬だから、「目の不自由な人のために」という言葉を入れる必要があるね。 	<p>❷ 大事な言葉や文を選んでつなぎ、要約文を書いていく。 【読む能力】（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の要約文の修正に生かせるように、自分の要約文と大型モニターに提示した児童の文を比べながら理由を聞くように話す。 ・自分が書いた要約文と共にしている言葉を見つけて、友達の意見を比べたりする視点を提示する。
4 友達と自分、友達同士の文章を比べながら、全体で交流をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「目の不自由な人が」という言葉が共通して入っているよ。 ・「安全に歩ける」が3人とも入っているよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再度自分の要約文に立ち返らせる時間をとり、できあがった文を修正できるようになる。 ・早く終わった児童は並行読書をするよう伝える。 ・リーフレット（盲導犬編）を作ることを伝え、意欲付ける。 ・盲導犬の仕事から目の見えない人の思いについても考え、発表するようになる。
5 詰合いでもとに、自分の文章を再度読み直し、修正する。	
6 学習感想を話し合い、次時の学習について知る。	